



# OK たより

大西勝彦

活動報告

No.86

2022年1月  
大府豊幸会  
(事務局) 刈谷市宝町8-1  
豊田自動織機組合会館est内

## 令和四年 新春



大府市議会議員  
大西勝彦

みなさん、こんにちは。大府市議会議員の大西勝彦です。新年を迎え、今年も心新たに議員活動に取り組んでまいります。今年こそコロナ禍から脱却できることを願っています。そのためにも私たち自身ができること、3密(密閉・密集・密接)の回避、マスクの着用、手洗い、咳エチケットの励行などを行っていきましよう。

12月議会が終わりました。この議会では新たに三つの条例が制定されました。また今回も一般質問に立ちましたのでその概要を報告させていただきます。



大西勝彦ホームページ  
<http://www.medias.ne.jp/~onishi/>



### 12月議会 主な議案

#### ☆ 大府市障がいのある人のコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例の制定

障がいについての理解を深め、障がいのある人の社会参加を促進し、誰もが人格と個性を尊重し合いながら安心して暮らすことのできる共生社会の実現を目指して、条例を制定する。

##### (市民の役割)

市民は、基本理念に対する理解を深め、障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の理解の普及及び利用の促進に関し市が推進する施策に協力するよう努めるものとする。

※コミュニケーション手段 → 手話、要約筆記、点字、音訳、音声、平易な表現、絵文字、絵カード、写真、筆談など

(施行期日) 令和4年4月1日

#### ☆ 大府市成年後見制度の利用の促進に関する条例の制定

一人ひとりに適した成年後見制度の利用を促進し、認知症、知的障がいその他の精神上的障がいのある人の誰もが安心して暮らすことのできるまちの実現を目指して、条例を制定する。

##### (市民の役割)

成年後見制度の重要性に関する関心と理解を深めるとともに、市が実施する成年後見制度の利用の促進に関する施策に協力するよう努めるものとする。

(施行期日) 令和4年4月1日

#### ☆ 大府市人と犬及び猫との共生に関する条例の制定

ペットを飼う人も、そうでない人も、互いの価値観を尊重し市民その他関係者が一体となって人と犬や猫が共生することのできる地域社会を実現するため、条例を制定する。

##### (所有者等の責務)

[犬猫] → ・終生にわたり飼育 ・健康及び安全の保持 ・マイクロチップ装着等による所有者の明示 など

[犬] → ・適正なしつけ ・柵、おり囲いの中で飼養 ・公共の場所では常に引き綱等で制御 ・ふんの回収 など

[猫] → ・屋内で飼育 ・ふんの回収

##### (所有者等のいない猫に対する給餌)

・適正な方法での給餌 ・周辺住民の生活環境に悪影響を及ぼす給餌の禁止

##### (過料)

・所有者等のいない猫に対する給餌への是正勧告・命令に違反した場合、5万円以下の過料

・犬の飼育、所有者等のいない猫に対する給餌の状況報告や検査の忌避、虚偽報告の場合等、5万円以下の過料

・公共の場所での犬のふんの回収に違反した場合、2万円以下の過料

(施行期日) 令和4年6月1日

#### 【大西の意見】

岡村市長は政策法務の充実をマニフェストに掲げ、就任以来積極的に条例を制定している。そのことについては何ら異論はないが、例えば今年4月に改正された交通安全条例では、自転車乗車時のヘルメットの着用が努力義務と規定されている。しかし現状を見ると、ヘルメットを着用している市民は児童生徒を除くとほとんどいない。条例は地方自治体の法律であり法令である。制定された条例が、市民に周知され、理解されなければ絵に描いた餅である。今後も、新しい条例が制定された時は、その効果を十分発揮させるためにも積極的に市民に周知していくことを強く期待している。

#### ☆ 大府市下水道条例の一部改正

下水道事業を将来にわたって安定的に継続していくことを目的として、平成元年度供用開始以降33年間未改定の下水道使用料を改定する。今回の改定により、今後10年間で一般会計からの基準外繰入金金がほぼ解消される予定。

・改定率は、全体で約20%増 ・改定時期は、第一段階:令和4年10月 第二段階:令和7年4月

## 美しい都市景観をつくる・・・

(大西)

4年前、岡村市長が、田村明氏の著書「美しい都市景観をつくるアーバンデザイン」を議会の場で紹介されたのは、大府市を「美しい都市」にしたいという思いの表れであったと思っている。岡村市長の2期目のマニフェストには、「景観計画の策定」が取り上げられている。その市長の「美しい都市景観」への思いを形にするため、昨年7月に大府市景観計画策定委員会が設置され、4回の委員会が開催されている。そこでお伺いする。現在、策定中の景観計画の一番の特徴は何か。

(岡村 市長)

「景観10年、風景100年、風土1000年」と言われるように、景観は今の暮らしを映し出すものであり、風景は時間軸を感じるもの、風土は時間軸の中に歴史、文化が読み取れるものである。そのため、私たちは先人から受け継いだ美しい景観を保全・育成、時には創出し、時を経て、風土としてその土地に息づくことを想像しながら、未来につなぐ景観づくりに取り組む必要があると考えている。本計画の特徴として、「つなぐ」という観点を取り入れており、「さと」と「まち」をつなぎ、そして、「歴史」を「未来」へつなぎ、多様な世代が協働し、主体的に景観まちづくりに関わることができる風土づくりを目指していく。

## 工場や倉庫の景観は？

(大西)

景観特性を「さとの景観」「まちの景観」「歴史の景観」「つなぐ景観」と分類しているが、製造業を中心とした工場や物流拠点の倉庫などについては、どのように位置付け、どういう方針を示しているのか。

(福島 都市政策課長)

市内ではJRや車の車窓からも大きな工場群を見ることができる。このような工業地景観は、まちの景観に位置付けしている。その中で、大府らしさで言えば、変わりゆく景観も、今後、注視していきたいと考えているので、工場の新改築等について特に制限をかけることは考えていない。

## 防災・景観の観点からも、無電柱化を進めよう・・・

(大西)

景観計画策定委員会でも、電線の地下埋設、無電柱化について、防災と景観の観点から議論している。景観計画の中で、無電柱化をどのように考えているか。市内で無電柱化の計画はあるか。

(伊藤 都市整備部長)

景観計画案の中では、「まちの景観形成」と「歴史の景観形成」の施策の一つとして「無電柱化の推進による景観の向上」を挙げている。無電柱化については、まちの魅力の向上にもつながる有効な手段であると認識している。一方で、無電柱化が進まない要因として、無電柱化の実施に要する多額の費用と時間、地域の合意形成などの課題が挙げられる。現在のところ、本市では具体的な取組の予定はないが、まずは、現在検討を進めている大府駅周辺のまちづくり計画に合わせて、無電柱化の計画についても検討を進めている。

## 都市整備部を所管する 山田副市長の思いは？

(大西)

「景観という観点から見たまちづくり」についての今回の一般質問のやり取りを聞いて、長年、都市計画や都市整備など建設畑を歩んでこられた山田副市長の思いをお聞きする。

(山田 副市長)

景観とは、それを見た人、感じた人の主観に負うところは非常に大きい。また、それぞれの地域、時代によって受け入れ方の異なってくるものだと思っている。日本では平成16年に景観法が制定されたが、法律上景観の定義は規定されていない。画一的な定義がない。

時を経ても多くの人に支持され、残されてきたまちの姿、例えば歴史的な町並みや歴史街道などは観光資源として、建物は文化財遺産として、いわゆる保存すべき景観として大切にされることになる。一方で、ある時期に支持されてきた景観というものは、時代の流れ、あるいは生活様式の中で、風化し、新しい町並み、景観に生まれ変わっていくこととなる。

大府については、鉄道、高速、幹線道路網、あるいは新旧の住宅街、駅前のマンション、大小の工場群、そして幾つものため池が広がる農地などなど、既に基盤となるインフラが整備され、また、神社、里山などを含めて、特徴ある多種多様な景観が醸し出されていると思っている。さらに、これらインフラに加えて、地理的な優位性からも大府市は他の多くの町に比べまだまだ成長している。その姿もこれから変わっていく。

今回の景観計画は、景観形成のための基本方針を定めるにとどめ、地域ごとに代表される現在の風景を写真に収めている。今後は、この成長する大府の姿をこれらの写真と照らし合わせながら、時の経過による変化、あるいは、変わりゆく景色、変わらぬ景色を市民の皆さんと見ていきたいと思っている。

## お知らせ

通常この「OKたより」は、地域毎・団体毎に順番を決め、訪問手配りさせていただいておりますが、今般の新型コロナウイルス感染防止対応に鑑み、今回も全て郵送とさせていただきます。よろしくお祈りいたします。

私たち働く仲間、生活者は

参議院議員

はまぐち誠さんを

応援しています！



参議院議員

まこと

はまぐち誠



みんなてつなげる 明るい未来



## はまぐち誠さんのプロフィール

- 1965年 三重県松阪市生まれ
- 1988年 筑波大学 第三学群社会学部 卒業
- トヨタ自動車株式会社 入社
- 2002年 全トヨタ労働組合連合会 副事務局長
- 2015年 自動車総連 特別中央執行委員
- 2016年 参議院議員選挙初当選 全トヨタ労連顧問